

議員提出議案第17号

多摩地域の地下水を水道水源として安定的に飲み続けることができるようにすることに関する意見書

上記の議案を提出する。

平成16年9月27日

提出者

18番 砂川 なおみ

8番 向谷 千鳥

15番 山本 ひとみ

武蔵野市議会議長 田中節男 殿

多摩地域の地下水を水道水源として安定的に飲み続けることができるようにすることに関する意見書

武蔵野市は、今年通水50周年を迎えました。地下250mから毎日くみ上げられるおいしい地下水が7割を占める水道水は武蔵野市民の誇りです。

多摩地域では、良質な地下水を地下水源として利用してきましたが、現在でも、多摩地域全体で水道水の約3割、日量約40万トンの地下水が利用されています。地下水は、河川水と比べて水温の変化が小さく、土壌のろ過作用を経て水質が清浄であることから、高い安全性、使いやすさ、おいしさなど優れた特性を持っています。このような地下水を今後もずっと飲み続けていきたいというのは、武蔵野市民のみならず、多摩地域の多くの住民の願いです。

環境への負荷を最小にする循環型社会を形成するためにも、自前の水源を保全して、水の自給率を上げることは重要です。地下水は武蔵野市のみならず、広域的な自治体の連携によって守られていくべきものです。

これまで東京都は、地下水を一時的に使用する予備水源として認可を得ていましたが、昨年、国から指導を受け、地下水を正規の水源として認可申請し、今年3月認可されました。

今後、東京都はこの地下水源の認可を機に、地下水を安定的に利用できるようにするため、より一層地下水の涵養に努めることや、汚染予防はもとより、汚染された場合の除去対策を備える等、大切な地下水を環境に配慮しながら利用し続けられるようにすることが大切です。

よって、武蔵野市議会は、貴職に対し、多摩地域の地下水を、住民の安定的な水道水源として飲み続けられるよう、積極的に施策を進めることを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成16年 9 月 日

武蔵野市議会議長 田 中 節 男

東京都知事 あて